

# がまこおろ 議会 だより

## 5月市議会臨時会・6月市議会定例会

5月臨時会／議決された主な議案	…… 2～3
6月定例会／一般質問…ここが論点	…… 4～9
6月定例会／議決された主な議案	…… 10～12
委員会通信	…… 13
議会日誌、9月定例会予定	…… 14

NO. 82  
2014.8



西浦温泉をPRするゆるキャラ「あさひちゃん」と「ゆーひくん」

# 正副議長の選挙・各委員会の構成などを決定

5月臨時会  
議案

5月市議会臨時会は、5月12日、13日の2日間の会期で開きました。  
今議会では、鎌田篤司議長、新実祥悟副議長を選出し、各委員会の構成を決めました。また、議案3件を審議し、いずれも原案のとおり可決・同意しました。  
その主な内容をお知らせします。

## 5月臨時会の日程

12日	本会議〔会期の決定、議案説明等〕 総務委員会
13日	本会議〔委員長報告、質疑、討論、採決、正副議長の選挙、監査委員の選任、委員会委員の選任等〕 総務委員会 経済委員会 文教委員会 議会運営委員会 国道23号蒲郡バイパス建設特別委員会

● **本会議での主な論点**  
賛成 法人市民税は消費税増額に伴い、その一部を国税化し地方交付税の財源とする

● **市税条例の一部改正**  
(第32号議案)  
地方税法の改正に伴い、4つの税率等を改正します。法人市民税は地方法人税の創設に伴い、法人税割の標準税率及び超過課税の税率を2・6%引き下げます。個人市民税は優良住宅地の造成等のため土地等を譲渡した場合の課税の特例の適用期限を3年延長します。固定資産税は「わがまち特別」を導入し減額をします。軽自動車税は平成27年度より税率を引き上げます。

● **監査委員の選任**  
(第34号議案)  
議会選出の大竹利信委員の辞任に伴い、後任委員として大場康議議員を選任することに同意しました。

● **その他の議案**  
反対 軽自動車税の引き上げは公共交通の少ない蒲郡では市民の足への負担となる。

● **条例の改正**  
るもので、本市への影響は少ないと考える。  
軽自動車税は小型自動車と軽自動車の性能に差異が少ないことから負担の適正化として受け止めている。  
反対 地方交付税は国税4税を財源とすべきであり、自治体本来の財源を国税化するやり方は、国の責任を曖昧にするものである。

## 全会一致で可決・同意した議案

議案番号	議案名	議案番号	議案名
33	消防団員退職報償金支給条例の一部改正について	34	監査委員の選任について

## 賛否が分かれた議案

○：賛成 ●：反対

議案番号	議案名	蒲郡自由クラブ											公明党蒲郡市議団		蒲郡志誠クラブ	無会派						
		稲吉 郭哲	広中 昇平	青山 義明	尾崎 広道	大場 康議	鎌田 篤司	鈴木 基夫	新実 祥悟	伴 捷文	竹内 滋泰	牧野 泰広	鈴木 貴晶	松本 昌成	大竹 利信	伊藤 勝美	波多野 努	喚田 孝博	来本 健作	日恵野 佳代	柴田 安彦	
32	市税条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●

※伴 捷文議員は議長職により採決には参加しません。  
※6月23日に会派の解散及び異動があり、波多野 努議員と喚田孝博議員は現在蒲郡自由クラブ所属です。

# 議長に鎌田篤司議員 副議長に新実祥悟議員を選任

5月13日の議案審議の終了後、伴 捷文議長の辞職に伴い、議長の選挙が行われました。投票の結果、鎌田篤司議員が第61代議長に当選しました。

続いて、大場康議副議長  
の辞職に伴い、副議長の選挙も行われ、投票の結果、新実祥悟議員が第63代副議長に当選しました。

議長及び副議長選挙前に

それぞれ全員協議会を開き、3名の議長立候補者と1名の副議長立候補者が所信表明演説を行いました。

次に、各常任委員と議会運営委員、特別委員の選任を行い、それぞれ互選により、正副委員長を決定しました。各委員会などの構成は、左下の表のとおりです。

## 各委員会の内容は

その他、蒲郡市幸田町衛生組合議会議員選挙を行い7名の議員が当選しました。

### ●常任委員会

市の事務の部門ごとに置かれ、それぞれの部門に属する事務の調査を行うとともに、議案、請願などの審査をします。

各委員会の主な担当事項は次のとおりです。

○**総務委員会**  
行政の総合的な企画・調

整、予算、財産、消防、広域連合、監査委員、選挙管理委員会に関することなど。他の委員会に属さないことは総務委員会に担当します。

置かれ、会派間の意見調整と会議を能率的に進行させる役割を担う委員会です。他の委員会が所管の議案等を審査するのに対し、議会運営全般にわたる事項を審査するのが特徴です。

○**経済委員会**  
観光、産業振興、道路、河川、公園、都市開発、上下水道、区画整理、競艇事業など。

建設特別委員会  
市街地の交通緩和と観光及び産業経済活動の活性化に期待される国道23号蒲郡バイパスの諸問題の調査研究と早期建設を図るために設置されています。

○**文教委員会**  
市民生活、健康、福祉、市民病院、教育など。

○**議会運営委員会**  
円滑な議会運営のために

## 就任 あいさつ



副議長 新実祥悟



議長 鎌田篤司

日ごろから市政全般にわたり、市民の皆さまには温かいご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび、私どもは5月市議会臨時会におきまして、議長・副議長に就任いたしました。その重責を担うとともに、職務の遂行に全力を傾ける所存でございます。

近年、安倍政権により低迷していた日本経済に復活のきざしが見えてまいりました。しかし、景気は回復傾向にあるとして今年4月より消費税が8%に引き上げられ、まだまだ楽観を許さない状況であります。

また、国外に目を向けましてもTPP協定交渉など、外交や経済にも大きな影響を与えかねない、非常に厳しい課題に直面しております。

このような時こそ、限られた財源をよりいっそう重点的かつ効率的に配分し、市民の皆さまの要求・要望を市政に反映させることが必要となつてきます。

そのために市議会の果たす役割は非常に重要です。議決機関として皆さまの意思を迅速に察知し、市政に反映させていくこと、また、皆さまの代表として市政運営の監視機関であることも十分認識しなければならぬと考えています。

私たちの蒲郡をいっそう住みよいまちにするために頑張りますので、皆さまのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

区分	氏名 (◎委員長 ○副委員長)
議長	鎌田篤司
副議長	新実祥悟
監査委員	大場康議
常任委員会	◎鈴木貴品 ○大場康議 広中昇平 青山義明 柴田安彦 伊藤勝美 喚田孝博
	◎鈴木基夫 ○稲吉郭哲 波多野努 松本昌成 鎌田篤司 伴 捷文
	◎尾崎広道 ○竹内滋泰 来本健作 日恵野佳代 新実祥悟 大竹利信 牧野泰広
議会運営委員会	◎牧野泰広 ○広中昇平 稲吉郭哲 伴 捷文 竹内滋泰 喚田孝博 伊藤勝美 ※6月23日の会派の解散及び異動により喚田孝博委員から大竹利信委員に変更となりました。
国道23号蒲郡バイパス建設特別委員会	◎青山義明 ○広中昇平 来本健作 波多野努 松本昌成 大場康議 竹内滋泰 牧野泰広



# 一般質問…ここが論点

6月市議会定例会中、11日、12日、13日の3日間で、市政全般について15人の議員が一般質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。

詳しい内容をお知りになりたい方は、6月定例会会議録を市立図書館などでご覧いただくか、市議会ホームページの会議録検索システムをご利用ください。発行・掲載はいずれも9月上旬の予定です。

また、ユーストリームライブ中継と録画放映も実施していますので蒲郡市議会のホームページ(<http://www.city.gamagori.lg.jp/site/gikai/>)からご覧ください。

## ■一般質問

日程	議員名	主な質問の項目
6月11日(水)	稲吉 郭 哲	名鉄西尾・蒲郡線 ごみ屋敷の対応 <a href="#">企業誘致・企業用地</a> <a href="#">公共交通</a>
	喚田 孝 博	<a href="#">中心市街地活性化</a> <a href="#">認知症高齢者支援</a>
	伊藤 勝 美	<a href="#">防災・減災対策</a>
	青山 義 明	<a href="#">交通安全施設の保守点検</a> <a href="#">通学路の安全対策</a> 小学校・保育園遊具の点検
	鈴木 基 夫	港湾の活性化と安全性・利便性 <a href="#">居住地域の整備とエネルギー計画</a>
6月12日(木)	柴田 安 彦	<a href="#">ラグーナ蒲郡、蒲郡海洋開発株式会社への対応</a> 東三河広域連合
	来本 健 作	<a href="#">「ペット」を取り巻く環境</a>
	竹内 滋 泰	<a href="#">防災・減災対策</a> <a href="#">国道23号蒲郡バイパス</a>
	大場 康 議	<a href="#">定住促進対策</a> <a href="#">市民病院の安定経営</a>
	鈴木 貴 晶	<a href="#">歳入確保策</a> <a href="#">市民の健康づくりと筋力トレーニング</a>
6月13日(金)	日恵野 佳 代	<a href="#">産業振興・地域活性化</a> <a href="#">子ども・子育て支援</a> 東三河広域連合 <a href="#">公共交通</a>
	尾崎 広 道	公共施設見直し <a href="#">シーブルー事業</a> 都市計画施設 <a href="#">道路拡幅・道路認定</a>
	広中 昇 平	<a href="#">ボートレース蒲郡</a> <a href="#">人間ドック事業</a>
	大竹 利 信	<a href="#">証明書等のコンビニ交付</a> <a href="#">がん検診</a> 柏原地区の企業用地
	松本 昌 成	公共施設の老朽化対策 <a href="#">臨時給付金等</a> <a href="#">安心カード</a>

※[下線付の項目](#)は次ページより質問と答弁の要旨を掲載しています。

稲吉郭哲（自由クラブ）

次の企業用地開発は

**問** 柏原地区企業用地開発の次の用地開発を進める必要があると思うが、今後の見通しはどうか。

**答** 企業用地の需要に对应するには、まだ用地は少ない状況である。市内の企業が市外に流出しないよう、また、市外の企業が立地してもらえらるよう、今後も市内への立地需要を確保できるように努力していく。

公共交通モデル事業について

**問** 形原地区公共交通協議会から提出された要望書に対して、市はどのように考えているのか。

**答** 6月19日に開かれる公共交通会議で正式に形原地区がモデル事業実施の承認が得られるものと考えている。

**問** 形原地区と市の役割分担について、どのような



5月20日 形原地区公共交通協議会からの要望書の提出

に協議していくのか。

**答** まずは地元の希望を聞き、市が検討事項の問題点を整理し、適切な車両規模の設定、運行方式、地域の特性やニーズ、地域の取り組みに応じて最適なサービス提供を官民連携してまとめたいと思う。

喚田孝博（志誠クラブ）

中心市街地の活性化について

**問** 改正中心市街地活性化法を踏まえ、中心市街地の活性化をどう図るのか。

**答** 現在、商工会議所を中心に蒲郡駅北エリア利

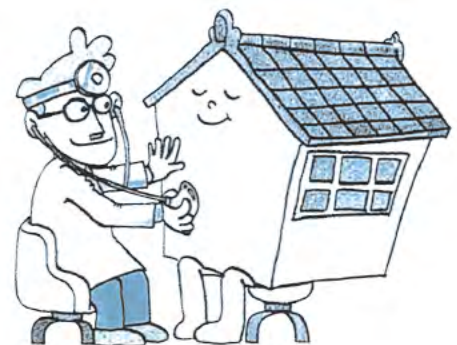
用計画の基礎調査等が進められており、今後諸問題等の検討、解決された後、中心市街地活性化協議会を設置し地域再構築を図りたい。  
**問** 北駅前の名店街ビル及び駅南公共駐車場の今後の活用についてはどうか。  
**答** 名店街ビルは、公募売却を検討していきたい。駅南公共駐車場は、民間駐車場の設置状況も踏まえ、定住人口の増加を図るために有効活用すべきと考えている。

認知症高齢者の支援について

**問** 認知症の見守りネットワークの創設は。



**答** 現在、認知症見守りネットワークの構築はできていないが、蒲郡に適したものを考えていきたい。  
**問** 認知症の介護家族支援についてはどうか。  
**答** 認知症家族特有の悩みや課題があるため、認知症家族に限った交流の場が必要と考えている。  
**伊藤勝美（公明党）**  
**耐震改修費補助の充実を**  
**問** 愛知県は平成25年度から段階的耐震改修費補助事業を実施しているが、市の考えは。  
**答** この制度は、震度6弱の高い住宅の判定値0・4以下を0・7以上に改修、上限60万円を補助するもので、当面の減災化を図りつつ、最終的には耐震化を促進するものである。市では判定値1・0以上に改修する補助を行っており、段階的耐震改修の補助は行っていないが、来年度に向け県や市の財務課と調整を図り、見



直しの検討を行いたいと考えている。

耐震改修促進計画の見直しについて

**問** 愛知県建築物耐震改修促進計画が見直され、被害予測結果も発表された。市の耐震改修促進計画の早期見直しを図るべきでは。  
**答** 市の耐震改修計画の期間は平成20年度から平成27年度の8年間となっている。見直しについては愛知県耐震改修計画「あいち建築減災プラン2020」の改定に合わせて行って

青山義明（自由クラブ）

国道23号蒲郡バイパス開通での交通量増加対応は

**問** 交通安全施設の保守点検の実施状況及び重大事故発生現場の対応について伺う。

**答** 市が管理するものは、通学路を除き市民の方の通報等により、現場を確認し、状況に応じて保守作業を行う。また、重大事故が発生した現場では、蒲郡警察署交通課とともに現場



蒲郡ICから幸田芦谷ICまでが開通した国道23号蒲郡バイパス

を確認し、警察の意見をもとに対応策を講じている。

通学路の安全対策は

**問** 通学時の交通安全や防犯対策としてどのような体制整備を行っているか。

**答** 学校では毎年、地域からの情報も得ながら、通学路の点検や見直し作業を行っている。標識等の点検は交通指導員が定期的に行い、新たな危険箇所への注意喚起看板は、地区の交通安全推進協議会を通じ対応する。また、登下校時には重点交差点に11名の交通指導員を配置し、交通安全指導を行っている。各地区においても交通安全推進協議会による街頭活動や見守り隊による巡回を行い、子供の安全確保に努めている。

鈴木基夫（自由クラブ）

居住地の整備とエネルギー計画について

**問** 新たなまちづくりについて。

**答** 企業誘致による新たな雇用の創出、新たな居住地域を設けることが重要であり、地域を支える社会インフラのあり方についても、先進地事例を研究し、模索していく。

**問** まちづくりにおけるエネルギーギー安定供給の考え方について伺う。

**答** 太陽光発電など発電技術の普及とともに、蓄電技術の実用化が重要と考える。今後新たなエネルギー施策として大型蓄電池の配備、電気自動車などを住宅用の蓄電池として利用した実証実験の誘致など、新たなエネルギー計画策定について検討していきたい。

**問** スマートシティ化について。

**答** スマートグリッドとコンパクトシティの融合によるスマートシティ化は高齢化の進む本市においてこれからのまちづくりでは1つの視点であると考え、スマートグリッドを整備し、ホームエネルギー管理システムにより、電力を適切に融通して供給できれば省エネ、節エネになり安定した

住環境を提供できる。

柴田安彦（無会派）

蒲郡海洋開発株式会社運営事業譲渡について

**問** 借入金の返済について伺う。

**答** 今後は、分譲事業とマリーナ事業の収益で返済を行っていく。長期借入の延長については、協議中であり答えられない。

**問** エイチ・アイ・エスへの売却益はないのか。

**答** 今は、事業継続についての協議中であり、譲渡金額についてもまだ協議している段階である。

**問** エイチ・アイ・エスの参加の仕方について

**問** 譲渡する事業は、3施設以外にあるのか。

**答** 譲渡価格が未定だが、ただ同然での譲渡か。売却価格について交渉中で、具体的な数字は

**問** 譲渡価格が未定だが、ただ同然での譲渡か。



ラグーナ蒲郡

いえない。

**問** 海陽多目的広場の扱いはどうなるのか。

**答** 蒲郡海洋開発株式会社と賃貸借契約を締結し利用しているが半年前に通知すれば契約解除できることとなっている。協議の中でラグーナ蒲郡の広場への拡張の可能性も聞いている。

来本健作（無会派）

「ペット」を取り巻く環境について

**問** ペットの現状について伺う。

**答** 本市の犬の登録件数、狂犬病予防注射実施率は、23年度4879頭、86・9%、24年度4825頭、85・9%、25年度4711頭、84・2%、電話等での犬・猫の苦情件数は、24年度44件、25年度25件だった。殺処分された犬・猫は、22年度犬65頭、猫69匹、23年度犬65頭、猫22匹、24年度犬38頭、猫62匹だった。

**問** ドッグランの設置やペット同伴の旅行等、ペットに優しいまちづくりについて伺う。

**答** 市内の公園・緑地ではノーリード、ロングリードでの散歩は禁止しており、ドッグランの設置はされていない。

また、市内には、小型犬と飼い主が宿泊できる旅館が2施設ある。ペットが激しく吠えたり、物を傷つける等のトラブルがあるが、宿泊施設と飼い主が力を合わせてこうした問題を解決できれば、ペットと宿泊できる施設は今後増えていき、本市の観光にとって大きなマーケットになる可能性があるのではないかと考えている。

竹内滋泰（自由クラブ）

防災・減災対策について

**問** 救護所の設置、運営のために、地域と関係機関はどのような連携に取り組んでいるか。

**答** 市関係部局、医師会等関係者が集った会議で提案のあった大規模な災害発生を想定した救護所の設置等訓練を、6月26日に中部中学校で生徒も加わって実施する予定である。



中部中学校での医療救護所開設等訓練

国道247号中央バイパスの渋滞緩和について

**問** 蒲郡西IC、蒲郡IC供用開始後の交通量増加による三谷町伊与戸交差点の247号中央バイパスから豊橋方面に向かう南進車の渋滞対策について伺う。

**答** 交差点から北側に400mほど延びる区間の南進車線の2車線を県に検討してもらっている。

大塚金野線について

**問** 大塚金野線の見通しについて伺う。

**答** 今年度県において調査費が予算化され、概略設計を行う予定と聞いている。今後とも早期事業化に向けて県に働きかけていく。

大場康議（自由クラブ）

定住促進対策について

**問** 247号中央バイパスや県道豊岡三谷港線の

整備により利便性が向上した豊岡町上前田地区の開発のために、40年以上にも渡っている暫定用途の制限解除ができないか。

**答** 県との協議の結果を受けて、暫定用途解除への検討をしていきたいと考えている。また、4月に定住促進プロジェクトチームが提案した、暫定用途を解除するまでの期間において民間開発を促進するための奨励金交付の年度内実施に向け、作業を進めている。

市民病院の安定経営のための取り組みについて

**問** 平成24年度に新設された地域医療連携室の患者の紹介率及び逆紹介率の推移を伺う。

**答** 紹介率については、23年度25・9%、24年度28・4%、25年度39・3%、逆紹介率は、23年度17・1%、24年度19・4%、25年度34・8%となっている。両数値とも向上しており、かかりつけ医である地域の開業医と市民病院との機能分化、医療連携が進んでいる。

ることを示している。

鈴木貴晶（自由クラブ）

歳入確保の取り組みを

**問** 今年度から岡崎市では軽自動車税の納税通知書用封筒へ広告掲載をして歳入確保に努めているとのことだが、本市での納税通知書用の封筒への広告掲載実施について伺う。

**答** 既に今年3月から部内において検討を開始している。今後は平成27年度



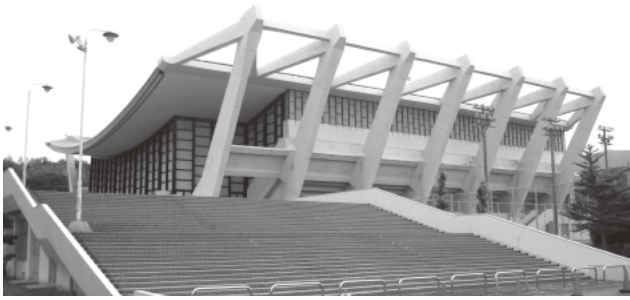
地域医療連携を推進する市民病院

からの実施に向けて、問題点等の洗い出し、先進市からの聞き取り等に取り組んでいく。

### 市民体育センターのトレーニングルームについて

**問** トレーニング器具の設置状況について伺う。

**答** トレーニング室は男子、女子に分かれており、それぞれ約20台の器具が設置されている。男子側は昭和43年開設当初に設置された器具がほとんどを占め、昭和55年に開設された女子



トレーニング室のある市民体育センター

側は平成22年に設置された器具が約半数となっている。比較的設備の新しい女子トレーニング室を特定の日曜日に男子に開放する考えはあるか。

**問** 比較的設備の新しい女子トレーニング室を特定の日曜日に男子に開放する考えはあるか。

**答** 安全上の問題等があり、現段階では難しいと考えている。

**日恵野佳代** (無党派・日本共産党)

### 地域に根ざした農業振興策は

**問** 政府は農協や農業委員会の解体等の改革や営利企業の農地所有の解禁など家族経営を基本として進めてきた農業政策を根本から覆そうとしている。市は農協や農業委員会への重要性について、どう認識しているのか。

**答** 市の農業振興は大事な1つの柱だと考えている。女性農業委員比率が県内1位である本市農業委員会は家族経営協定等にも積極的に取り組んでいる。政府の議論を注視しながら農協や農業委員会とも連携を深め、農業振興を進める。

**問** 蒲郡市の0歳から11歳の人口は過去5年間の実数と今後5年間の予測で約千人減る推計が子ども子育て会議で発表された。子育てが楽しいといえる蒲郡市づくりに取り組む必要があると考えるがどうか。

**答** 25年のニーズ調査によると保育サービスの不足、子どもの遊び場が少ない等の回答がある。量的な拡大だけでなく質の改善も含め進めていきたい。



### 子育てが楽しい蒲郡を

### 尾崎広道 (自由クラブ)

低地帯の排水整備計画は

**問** 形原町川原地区から三谷町に至る低地帯の洪水対策として排水ポンプの整備計画はどのようなか。

**答** これらの地区は、市も大変危惧している。現在計画はないが、現状把握、現地調査を行い、有効な手法を検討していく。

流出した砂浜の再生について



三河湾から望む蒲郡市

**問** 西尾市では矢作ダムの堆積砂をもらい、干潟、浅場を再生させている。西浦海岸では砂の流出が問題化しているが、本市の砂浜、干潟再生に向けた考えは。

**答** 実情をしっかりと把握した上で、国、県等に強く働きかけたい。

### 狭あい道路の拡幅対策

**問** 狭あい道路の拡幅策について伺う。

**答** 「蒲郡市道路敷地寄附受納取扱要綱」により権利者の希望があれば道路用地として市が受領している。申請者に境界測量、分筆、抵当権等の抹消登記等をお願いし、所有権移転、地目変更登記は、市が行う。

### 広中昇平 (自由クラブ)

ボートレース蒲郡の

今後の展望は

**問** 消費税増額等の影響により収益の確保が難しくなると思うが、今後の他会計への繰り出しの考えは。





4月26日にオープンしたボートレース蒲郡新スタンド

**答** 近年では毎年20億円を繰り出してきているが、施設改善事業債の償還等によるさらなる収益減も見込まれる。他会計への繰出金額の再考も視野に入れている。

**問** SG等のビッグレースの誘致を含めた今後の

**答** ボートレース蒲郡は平成27年3月に立体駐車場等を完成させ、4月にグランドオープンの予定である。施設改善後の万全な体制でビッグレースを誘致していきたい。

特色のある人間ドックの実施の可能性は

**問** 収益向上のため他の病院にない特色のある人間ドックが可能か伺う。

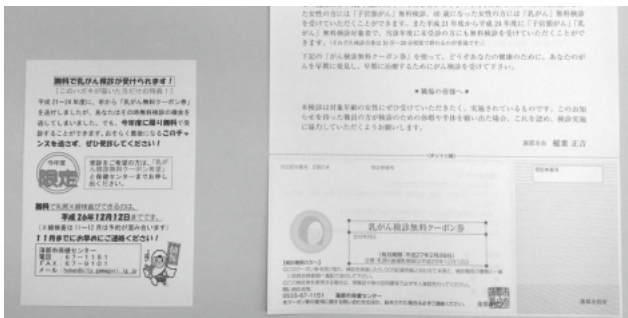
**答** 現状では人間ドックの全ての検査項目に対応する体制が整っていないが一部に特化して脳ドックは実施している。蒲郡では脳外科や循環器科の医師が充実しているため他の病院にない人間ドックの対応も可能だと考えている。

大竹利信（公明党）

証明書等のコンビニ交付サービスの実施は

**問** コンビニ交付サービスは、利用面では午前6時半から午後11時まで利用が可能であること、店員によるトラブル対応がすぐに行えること、さらにコスト面でも自動交付機と比べ、メリットが多い。実施の考えはないか。

**答** マイナンバー法の成立に伴い、今後さまざま



がん検診受診勧奨はがきと無料クーポン

な手続きで証明書の添付が不要になるという動きもある。個人番号カードの普及状況や、コンビニ交付のコスト低減が、どの程度か等を慎重に踏まえ、実施に向けて研究していきたい。

がん検診のコール・リコール制度について

**問** 平成26年度より厚生労働省が2年間をかけ乳がん・子宮がん検診の無料クーポンの再発行をしている。それに加えて手紙や電話で未受診者への個別勧奨

は臨時福祉給付金、子育て世帯臨時特例給付金、県では子育て支援減税手当と3つの給付金が予算化された。蒲郡市の給付方法とスケジュールについて伺う。

**答** 給付方法は申請書に必要事項を記入のうえ同封の返信用封筒により郵送していただき、書類審査の結果給付が決定すれば指定の金融機関の口座に振り込む。スケジュールとしては、7月31日に申請書等を郵送し、8月1日から12月26日までの間を申請書の受付期間とする予定である。

松本昌成（公明党）

消費税アップに伴う3つの給付金について

**問** 消費税率を8%に改定したことに伴い、国では臨時福祉給付金、子育て世帯臨時特例給付金、県では子育て支援減税手当と3つの給付金が予算化された。蒲郡市の給付方法とスケジュールについて伺う。

**答** 蒲郡ではカード名称を「安心カード」とし準備を進めている。記入項目などの最終調整や周知の準備ができ次第、2千枚を配布する予定である。

安心カードの準備状況は

**問** 市民の安全安心の確保を図る事業として全国の自治体で緊急連絡先や医療情報などを記入する救急安心カードの取り組みがはじまっている。蒲郡の現在の準備状況はどうか。



# ラグーナ蒲郡運営事業支援交付金に関する条例を制定

6月定例会  
議案

6月市議会定例会は、6月11日から23日までの13日間の会期で開き、議案10件、請願2件及び意見書案件1件を審議しました。

ラグーナ蒲郡運営事業支援交付金に関する条例の制定など、主な内容をお知らせします。

## 条例の制定・改正

●ラグーナ蒲郡運営事業支援交付金に関する条例の制定

(第35号議案)

ラグーナ蒲郡が市の重要な観光拠点であるとともに、市全体の経済及び雇用の観点から市のまちづくりにより必要不可欠な存在であることを踏まえ、新たにラグーナ蒲郡を運営する事業者に支援交付金を交付することにより、市全体の観光振興及び雇用の促進を図り、市の持続的な発展に資することを目的とするものです。

●総務委員会での主な質疑  
問 交付金の総額を30億円

とした根拠は何か。

答 海陽町地内で、蒲郡海洋開発株式会社、トヨタ自動車株式会社、ラグーナ蒲郡の新運営事業者が納める固定資産税、都市計画税相当額の10年分ということです。また、10年間でラグーナ蒲郡の施設管理やアトラクションの更新に約62億円が必要になり、そのおよそ2分の1に当たる30億円が市としてできる最大限の支援であると考えます。

問 交付申請の内容を、誰が、どういう基準で、審査するのか。

答 交付申請とともに提出される事業計画書の内容に基づいて、観光振興が図れるか等を加味しながら、担

当である企画広報課が審査します。

問 ラグーナ蒲郡未利用地を生かした新たなまちづくり構想案は、市単独の案か、トヨタ自動車株式会社、県、市の3者で協議した案か。

答 この案は、3者で協議したものであり、ラグーナ蒲郡が賑わうことにより、未利用地への企業誘致を進めていきたいと考えています。

●本会議での主な論点

賛成 ラグーナ蒲郡は年間300万人以上の来場者を集客し、観光のまち蒲郡を支援しており、地域経済及び雇用に与える影響は多大である。交付金の交付は、新たな事業展開による更なる賑わいの創出、未利用地の開発に繋がるものであり、中長期的なまちづくりの観点から必要な支援であると考えられる。

反対 他の経済振興策や雇用促進策を検討しておらず、全体のバランスの取れた産業支援に取り組むべきである。また、施設の譲渡は有償か無償か、新事業者が撤退した場合の責任の所在、



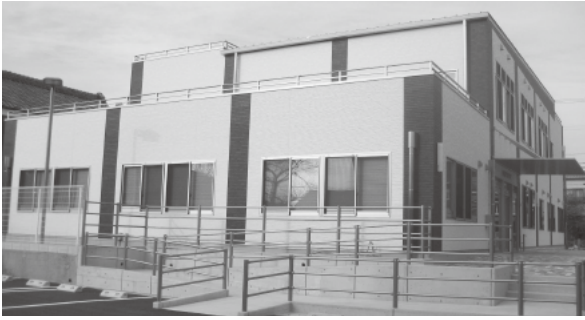
株式会社H.I.S.が引き継ぐこととなったラグーナ蒲郡

交付金の財源について、十分な説明がされていない。反対 譲渡価格や借入金の返済方法など将来見込みを明らかにしないまま、30億円の交付金支給を認めることはできない。総務省の指針では、清算や完全民営化の検討を求めている。今決断をすれば更なる税金の投入をせず、その予算を市民の暮らしのために使うことができる。

●市内2施設に指定管理者制度を新たに導入 (第36号議案)

## 6月定例会の日程

- |     |  |
|-----|--|
| 11日 | 本会議<br>〔会期の決定、<br>諸般の報告、議案説明、<br>一般質問など〕 |
| 12日 | 本会議〔一般質問〕                                |
| 13日 | 本会議〔一般質問〕                                |
| 16日 | 総務委員会                                    |
| 17日 | 経済委員会                                    |
| 18日 | 文教委員会                                    |
| 23日 | 本会議<br>〔委員長報告、<br>議案説明、質疑、討論、<br>採決など〕   |



指定管理者制度を導入する蒲郡公民館

平成27年度から新たに、蒲郡公民館と三谷公民館に指定管理者制度を導入するための条例改正が行われました。この結果、指定管理者制度の導入施設は合計で40施設となります。

**●総務委員会での主な質疑**  
 問 今回の2公民館の指定管理期間の予定はどのようか。  
 答 1年間とする予定です。なお、既に指定管理を行っている他の公民館が、平成27年度末で期間満了になるので、今後は他の公民館の指定管理期間と合わせて5年間としていきたいと考え

ています。

**●国民健康保険税の課税限度額引き上げと軽減対象世帯の拡大 (第38号議案)**  
 地方税法施行令の改正に伴い、平成26年度以後の国民健康保険税について2つの改正を行います。  
 1つ目に、国民健康保険税の後期高齢者支援金等課税額に係る課税限度額を年額14万円から16万円に、介護納付金課税額に係る課税限度額を年額12万円から14万円に引き上げます。  
 2つ目に、被保険者均等割額及び世帯別平等割額の軽減措置についての対象世帯の拡大をします。

**●文教委員会での主な質疑**  
 問 地方税法施行令が改正される都度、課税限度額を引き上げる必要があるのか。  
 答 医療費の増大が続く中で、課税限度額を抑えることは、課税限度額を超える者の負担を増やさない効果はあるものの、中・低所得者層に負担を強いることになり、相対的に所得のある方に負担をお願いせざるを得ない。

■ 請 願

- ①「特定秘密保護法の廃止を求める意見書」の提出を求める請願  
 提出者 秘密保護法の廃止を求める東三河の会  
 代表 長屋 誠 氏  
 審査結果 不採択
- ②「解釈改憲による集団的自衛権の行使容認に反対する意見書」の提出を求める請願  
 提出者 秘密保護法の廃止を求める東三河の会  
 代表 長屋 誠 氏  
 審査結果 不採択  
 (○内の数字は、請願番号)

■ 陳 情

- 手話言語法制定を求める意見書の提出を求める陳情  
 提出者 蒲郡市聴覚障害者福祉協会  
 会長 丸山 みゆき 氏  
 審査結果 採択
- 政府へのT P P交渉に関する意見書の提出を求める陳情書  
 提出者 蒲郡市農業協同組合  
 代表理事組合長 石川 賢治 氏  
 審査結果 聞きおく
- 憲法をいかして働く者の権利を守り、住民生活の向上、核兵器のない平和な世界を求める陳情書  
 提出者 春の自治体キャラバン実行委員会  
 代表 樽松 佐一 氏  
 審査結果 不採択

■ 6月定例会で議決された平成26年度補正予算

(1) 歳入歳出予算の補正

会計名	補正の主な内容	補正額	歳入・歳出予算の総額
一般会計 (第1号)	市庁舎管理事業費追加 (1,731万円)	2億4,214万円	261億9,814万円
	基金積立金追加 (6,500万円)		
	国民健康保険事業特別会計繰出金追加 (4,403万円)		
	予防接種事業費追加 (5,718万円)		
	排水路整備事業費追加 (1,900万円)		
	教育文化スポーツ振興事業費追加 (1,000万円)		
	旧勤労青少年ホーム解体事業費 (2,648万円)		
国民健康保険事業特別会計 (第1号)	国民健康保険税(△2,405万円) 繰入金(2,405万円)	0	85億4,420万円
公共用地対策事業特別会計 (第1号)	一般会計繰出金	6,500万円	1億4,570万円
一般会計 (第2号)	地域健康増進促進事業費	2,385万円	262億2,199万円

(2) 債務負担行為の補正

会計名	事項	期間	限度額
一般会計 (第1号)	ラグーナ蒲郡運営事業支援交付金	平成26年度 ～ 平成35年度	30億円

■ 意見書

- ①「手話言語法」制定を求める意見書  
 内閣総理大臣  
 (○内の数字は、意見書番号)

るを得ないとの判断から行うものです。

**問** 今回の改正による市の財政への影響はどのようか。  
**答** 約2630万円の減額の見込みですが、国・県の交付金等が約3300万円増えるため、約670万円の増額となります。

● **本会議での主な論点**

**賛成** 課税限度額を据え置くことは課税限度額を超える者の負担を増やさないといい効果があがるが、中・低所得者への負担を増すこととなるため、国の改正に準じて改正するものである。

また、軽減措置の対象の拡大により低所得者世帯への負担を軽くするものであり、妥当だと考えている。  
**反対** 軽減措置の拡大とあるが、わずかでも基準額を超えると対象にはならない。さらなる軽減を求める。

その他の議案

● **市道の路線認定及び廃止 (第39号議案)**

国京宮間2号線を路線認定し、一色松葉4号線を廃止します。

■ **全会一致で可決・同意した議案**

議案番号	議案名	議案番号	議案名
37	火災予防条例の一部改正について	43	工事請負契約の締結について (旧原山焼却場解体工事)
39	市道の路線認定及び廃止について	44	平成26年度一般会計補正予算 (第2号)
41	平成26年度国民健康保険事業特別会計補正予算 (第1号)	意見書案1	「手話言語法」制定を求める意見書について
42	平成26年度公共用地対策事業特別会計補正予算 (第1号)		

■ **賛否が分かれた議案**

○：賛成 ●：反対

議案番号	会派・議員名	蒲郡自由クラブ													公明党蒲郡市議団		蒲郡志誠クラブ		無会派			
		稲吉 郭哲	広中 昇平	青山 義明	尾崎 広道	大場 康議	鎌田 篤司	鈴木 基夫	新実 祥悟	伴 捷文	竹内 滋泰	牧野 泰広	鈴木 貴晶	松本 昌成	大竹 利信	伊藤 勝美	波多野 努	喚田 孝博	来本 健作	日恵野 佳代	柴田 安彦	
35	ラグーナ蒲郡運営事業支援交付金に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
36	公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
38	国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
40	平成26年度一般会計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
請願1	「特定秘密保護法の廃止を求める意見書」の提出を求める請願	●	●	●	●	●	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	
請願2	「解釈改憲による集団的自衛権の行使容認に反対する意見書」の提出を求める請願	●	●	●	●	●	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	

※鎌田篤司議員は議長職により採決には参加しません。  
 ※6月23日に会派の解散及び異動があり、波多野 努議員と喚田孝博議員は現在蒲郡自由クラブ所属です。

# 委員会通信

## 3常任委員会 管内視察を行う

総務、経済、文教の各常任委員会は、いずれも5月中・下旬に委員会を開き、関係部署の所管事務の概要説明を受けるとともに、管内の視察を行いました。総務委員会は5月15日に開き、消防本部での説明及び庁舎内の見学後、西浦町

大山地内の南風荘跡地、市有の貸付地に建つ廃屋の解体工事跡地、生命の海科学館を視察しました。

経済委員会は5月23日に開き、大塚最終処分場、三河港蒲郡地区マイナス11m岸壁、下水道浄化センター、ポートレース蒲郡の説明及び4月26日にリニョリアルオープンした新スタンドの視察をしました。文教委員会は5月20日に

## 他市町村議会からの視察一覧

### 《1月》

- 20日 徳島県鳴門市／ポートレース蒲郡の施設改善
- 24日 和歌山県橋本市／観光交流都市づくり
- 28日 愛媛県新居浜市／粗大ごみ等運搬トラック貸出制度
- 31日 愛知県新城市／完全米飯給食

### 《2月》

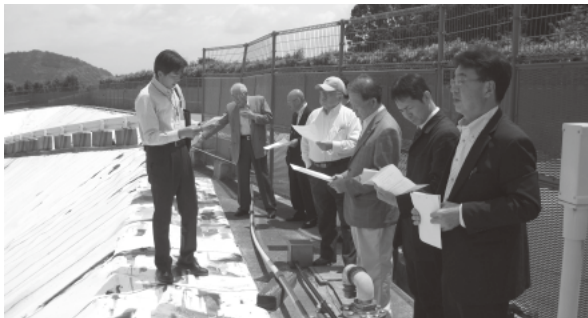
- 5日 京都府木津川市／議員定数削減の取り組み

### 《4月》

- 10日 愛知県岡崎市／空き家等適正管理条例
- 17日 大阪府和泉市／空き家等適正管理条例

### 《7月》

- 7日 香川県丸亀市／ポートレース蒲郡



大塚最終処分場を視察する経済委員



南風荘跡地を視察する総務委員

開き、市民病院での説明及び院内の見学後、学校給食センター、キッズサポート



キッズサポートセンター千兵衛で説明を受ける文教委員

センター千兵衛、改修を行った三谷中学校プールを視察しました。

## 東三河広域連合（仮称）について

4月28日に開かれた総務委員会において東三河広域連合（仮称）について報告がありました。

4月23日に行われた東三河広域協議会総会において東三河8市町村長の連名による「東三河広域連合（仮称）設立に向けた合意書」の発表がありました。同時に東三河広域連合設

立のスケジュールや設立当初から実施する共同事務として介護保険事業をはじめ6事業についての報告がされました。

また、5月15日及び6月23日の総務委員会では東三河広域連合議会についての協議を行い、総務委員からなる「ワーキング」を設立し、その都度協議をしていくことになりました。

## 蒲郡市ごみ処理基本計画について

6月17日に開かれた経済委員会において蒲郡市ごみ処理基本計画について、報告がありました。

計画は、一般廃棄物の排出抑制、減量・再利用の推進を図るための基本方針や目標を定めること、期間は平成26年度から平成40年度までの15カ年で概ね5年ごとに見直しをすること、蒲郡市ごみ減量推進対策協議会の答申での、小型家電のリサイクルやごみの有料化などの5つの取り組み策に基づき計画素案を作成したことこの報告がされました。

●編集 議会だより編集委員会 ●発行 蒲郡市議会 ●〒443-8601 蒲郡市旭町17-1 ●TEL0533(66)1169 ●FAX(66)1186

### 9月定例会の 開催日・日程は

9月市議会定例会は、9月3日(水)開会予定です。詳しい日程は、8月28日(木)に開催予定の議会運営委員会で決まりますので、それ以後に議会事務局へお問い合わせください。

本会議の傍聴を希望される方は、会議当日、市役所新館7階の議会事務局で手続きをしてください。

また、本会議日程と一般質問の内容は、市役所のロビーや市議会ホームページでもお知らせします。

### 議会だよりは目の不自由な方向けに点字版とテープ版も発行しています

点字版は、点訳グループ「あい」の皆さん、テープ版は、ボランティアグループ「声」の皆さんのご協力で発行されています。

また、議会だよりは、三河塩津駅を除く市内JR3駅、名鉄蒲郡駅のほか市民病院や市立図書館にも置



傍聴席から見た本会議場

てあります。なお、インターネットでもご覧いただけます。



政策に取り組み、政策に生きるべき議員にとって、一般質問は、もっともはなやかで意義のある発言の場であり、また、住民からも重大な関心と期待をもたれる大事な議員活動の場でもあります。

一般質問は、議題とは関係なく行財政全般にわたる議員主導による政策論議でありますから、質問する議員も、受ける執行機関も共に十分な準備が必要です。そのために、他の発言と違って通告制が採用されています。

議員としては、質問の構想を練り理論構成をして要旨を通告して質問の原稿を作ります。

執行機関は、通告の内容について議長から通知を受け万全の準備を整えて責任の持てる確かな答弁ができる体制を作ります。

議員が行った一般質問、その質問に対する執行機関の答弁をいかにわかりやすくお伝えするのが議会だよりであると思います。議会だより編集委員会は市民に親しまれる議会だよりの編纂に努めてまいります。

[議会だより編集委員]

◎竹内 滋泰 ○稻吉 郭哲 広中 昇平 伴 捷文 大竹 利信 牧野 泰広 伊藤 勝美 (◎は委員長、○は副委員長)



私たちが、編集委員です。

## 議会日誌

4月5日から7月3日

### 4月

- 9日 議会運営委員会理事会  
議会基本条例・憲章等  
検討協議会
- 21日 議会運営委員会理事会
- 28日 総務委員会
- 30日 議会運営委員会理事会

### 5月

- 2日 5月臨時会招集告示
- 8日 議会運営委員会  
議会運営委員会理事会  
議員親睦会理事会
- 12日～13日 5月臨時会
- 12日 議会運営委員会
- 13日 議員親睦会総会  
正副委員長会議  
議会運営委員会理事会
- 15日 総務委員会管内視察
- 20日 文教委員会管内視察
- 23日 議会運営委員会理事会  
経済委員会管内視察
- 27日 東三河5市議会議長会議
- 29日 議会運営委員会理事会

### 6月

- 2日 6月定例会招集告示  
議案説明会
- 5日 議会運営委員会理事会  
議会運営委員会
- 11日～23日 6月定例会
- 20日 議会運営委員会理事会  
議会運営委員会
- 23日 議会運営委員会理事会  
議会だより編集委員会  
総務委員会
- 30日 議会基本条例・憲章等  
検討協議会

### 7月

- 3日 議会だより編集委員会

